

8. 独立行政法人 建築研究所講演会

「建築研究所が目指す生活に密着した建築技術」

期 間 : 平成17年3月18日(金) 10時~17時
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 独立行政法人 建築研究所
 聴講者数 : 446名

プログラム

建築研究所の研究開発の方向	10:00-10:15	理 事 長	山内 泰之
建築研究所における取り組み(1)	10:15-10:40		
- 地球環境に配慮した建築物の普及に向けて -			
木材と鉄筋コンクリート等を複合して用いた建築物に関する構造技術の開発			
		構造研究グループ 上席研究員	河合 直人
建築研究所における取り組み(2)	10:40-11:30		
- 快適な室内空間の実現をめざして -			
通風の簡易設計手法構築に向けて			
- 通風性状に関する新しい知見と通風計画に関する提案 -			
建築材料からのホルムアルデヒド放散とその抑制技術		環境研究グループ 研究員	西澤 繁毅
		材料研究グループ長	本橋 健司
インデクシングセッション	11:30-11:50		
昼休み 12:00-13:00			
- 緊急調査報告 -			
新潟県中越地震調査等報告	13:00-14:30		
建築研究所における取り組み(3)	14:45-16:00		
- 安心・安全な社会の構築に向けて -			
2004年新潟県中越地震とスマトラ沖巨大地震の震源で何が起こったのか?			
		国際地震工学センター 研究員	八木 勇治
地震リスクマネジメント技術を活用した地震対策の普及		住宅・都市研究グループ 研究員	高橋 雄司
自動車火災を受ける構造部材の耐火設計手法		防火研究グループ 主任研究員	増田 秀昭
建築研究所における取り組み(4)	16:00-16:50		
- 建築計画や生産プロセスのあり方を考える -			
ワークフロー分析による建築生産の効率的向上手法		建築生産研究グループ 主任研究員	眞方山美穂
公共施設のニーズおよび顧客満足度に関する調査分析技術の開発		住宅・都市研究グループ 主任研究員	小島 隆矢

ポスターセッション

沿岸部の高層・過密化が風環境に及ぼす影響	環境研究グループ	上席研究員	足永 靖信
市街地火災の延焼シミュレーションモデルの開発	防火研究グループ	上席研究員	林 吉彦
建物倒壊による道路閉塞シミュレーションシステムの開発	住宅・都市研究グループ	研究員	阪田 知彦
防犯性からみた住民による公園管理活動の効果	住宅・都市研究グループ	研究員	樋野 公宏
国連防災世界会議（阪神・淡路大震災総合フォーラム）への参加の概要	国際協力審議役		榎府 龍雄
建物を対象とした強震観測ネットワークの管理と活用技術	国際地震工学センター	主任研究員	鹿嶋 俊英
省エネと快適性の両立が可能な「パッシブリズミング空調システム」の開発	首席研究員		坊垣 和明
住宅・建築におけるユニバーサルデザイン研究の取り組み	建築生産研究グループ	主任研究員	布田 健
コンクリートの硬化特性予測モデルを用いた材料設計技術	材料研究グループ	上席研究員	杉山 央
簡易な振動台による実演（ビデオ上映、模型展示）	構造研究グループ	上席研究員	河合 直人